

ドリル等検討作業部会報告内容

2026.7.1

作成者:学習指導課 紫芝 雄亮

1 メンバー

校長会担当:香澄小学校長 伊坂先生、袖ヶ浦西小学校長 大津先生

総セ担当:青野所長 学習指導課:紫芝

小学校教員担当:実籾小 西原先生、実花小 渡辺先生

2 作業報告(R9実施予定のドリル・ワークについて)

2026. 7. 1現在

	国語	算数	理科	社会	外国語
1年	ミライシード 紙ドリル	ミライシード 紙ドリル			
2年	ミライシード 紙ドリル	ミライシード 紙ドリル			
3年	ミライシード と漢字ノート の併用	ミライシード (計算ノート)	ミライシード	ミライシード	ミライシード
4年	ミライシード と漢字ノート の併用	ミライシード (計算ノート)	ミライシード	ミライシード	ミライシード
5年	ミライシード と漢字ノート の併用	ミライシード (計算ノート)	ミライシード	ミライシード	ミライシード
6年	ミライシード と漢字ノート の併用	ミライシード (計算ノート)	ミライシード	ミライシード	ミライシード

3 ミライシードとノートの併用方法

漢字については、書き順をミライシードで確認した後に、漢字ノートに書かせている。漢字ノートの書き方については、教職員が手本を作成している。漢字ドリルがタブレットに変わっただけで、取り組みについては、紙ドリルと変わらずに学習に取り組んでいる。また、漢字テストについても、ミライシードで範囲を指定して学習した中から、担任が10問黒板に問題を書き、漢字ドリルノートに答えを書いて取り組んでいる。

漢字ノートについては枠が最初から書かれていて、線などひくことが苦手な児童もストレスなく学習に取り組めるものがある。

その他の教科についても、学習の進みが早い児童は、各自でミライシードを進めることができおり、やる気に満ちあふれている児童もいるとのこと。また、児童によっては、前年度の学年に戻って学習することができ、個に応じた学習の手助けにもなっている。

4 課題

漢字の採点について、厳しくすればなかなか○にならないし、甘くすれば字が適当になってしまう。どこまで求めるかが課題。

低学年(特に1、2年生)については、タブレット操作に時間がかかってしまうため、紙ドリルと併用して取り組んでいきたい。

特別支援の児童については、合理的配慮として紙ドリル等を併用していきたい。

テスト検討作業部会報告内容

2026.7.1

作成者：総合教育センター 肥田 史宣

1 メンバー

校長会担当：実花小学校長 河村先生、秋津小学校長 黒田先生

総セ担当：肥田 （学習指導課：田中課長）

小学校教員担当：屋敷小 小松代先生、袖ヶ浦東小 田中先生

2 作業報告(R9実施予定のテストについて)

	国語	算数	理科	社会	外国語
1年	ワークテスト で実施	ワークテスト で実施			
2年	ワークテスト で実施	ワークテスト で実施			
3年	ワークテスト で実施	ワークテスト で実施	ワークテスト で実施	ワークテスト で実施	
4年	テストパーク で実施	テストパーク で実施	テストパーク で実施	ワークテスト で実施	
5年	テストパーク で実施	テストパーク で実施	テストパーク で実施	テストパーク で実施	ワークテスト で実施
6年	テストパーク で実施	テストパーク で実施	テストパーク で実施	テストパーク で実施	ワークテスト で実施

3 その他の評価テスト

教科書指導書資料内の評価テストを実施可能な教科あり。→紙で実施

その他、評価についてはテスト以外にも授業中の様々な場面で活動を評価する。

4 課題

- ・市作成の問題については、作成の手順自体は法務課のチェックを受けているが、内容面の精査については、今後とも必要になってくる。
- ・市作成問題を次年度以降継続使用するためには、専門作業部会の招集、作成資料のチェック、第三者チェック(著作権含む)を、毎年行っていく必要がある。
- ・検定教科書の改訂や新学習指導要領に合わせた問題作成をすることが非常に難しい。

→このため、テストパークで対応していない部分については、市作成の問題ではなくワークテストで実施していく。

国語ワーク検討作業部会報告内容

2026.6.19

作成者:学習指導課 辻本 諒

1 メンバー

校長会担当:実籾小学校長 荒川先生

総セ担当:矢野

学習指導課:辻本

中学校教員担当:一中 中山先生、四中 榊先生

2 作業報告

	ミライシードで網羅できない部分	解決方法
①	漢字のまとめテスト(20問)	作成したものを teams など共有化する。
②	文法の要点	ドリルパークの解説を見て確認する。 教師が作ったものは共有化する。

3 その他(指導法の提案等)

- ・基本的にはドリルパークがワークの代用となる
- ・漢字の学習はノートを併用していくことで、筆圧などが安定するようになる。
※ノートを購入している学校と、していない学校にばらつきがあるので、ノートを購入してもよいことを広く周知していく。
- ・中学校は教科書に漢字の読み方や熟語例が書いてあるので活用する。
- ・漢字判定は実態に応じて変更していく必要がある。
- ・便覧については、教科書、既存資料、信頼できるデジタル教材等を活用して対応できる。
- ・書く問題は、授業の中で工夫して取り組んでいく必要がある。
- ・すべてをデジタルに頼るわけではなく、ノートを併用し、効果的に活用することで学力向上を目指していく。

※共有化するものの場所を共通していく必要がある。→teams なのか共有フォルダなのか

数学ワーク検討作業部会報告内容

2026.6.19

作成者:学習指導課 鷹野 優子
総合教育センター 三平 明広

1 メンバー

校 長 会:藤崎小学校長 梶倉先生
総合教育センター:三平
学 習 指 導 課:鷹野
中学校教員担当:二中 根本先生、七中 中里先生

2 作業報告

	ミライシードで網羅できない部分	解決方法
①	作図問題 (ミライシードにはないので、必ず 代用が必要)	1. プリント作成システムの導入 ○問題を作成することができ、教師の 意図を反映できる
②	発展問題への対応	1. ミライシードのアップグレード ベネッセには市総セからも問題の質・ 量・機能については要望済み ●ミライシードにもパワーアップドリル 機能があるが問題数が少ない 2. 生成AIの活用やプリント作成システ ムの導入 ①と同様
③	困っている子への支援 (生徒がどこでつまづいているの かが見えにくい)	1. ミライシードで個々の回答や全体的 な正答率を見て支援する ○教師側の画面から一括で把握でき る 2. つまづきを把握するために、ノート を併用して対応。必要に応じて紙のプ リントを使用。 ○机間指導の中で思考の過程が把握 しやすく、その場で対応できる

3 その他

- ・数学は紙に書いて思考を整理することが多いので、問題をタブレットに表示し、計算等をノートに書いて対応している。
- ・紙媒体で学習する際には千葉県のHPに掲載の「やる気学習ガイド」の問題やL-Gate 内の「MEXCBT テスト」を利用することができる。ネット上のフリーサイトの活用はどうか。
- ・教科書付属のプリントも活用している。
- ・ミライシードは、主に朝自習や家庭学習等、個人学習で使用していて、個別学習の手段の一つとして活用している。授業内の個人学習の際にも利用している。
- ・教師も積極的に使うことでタブレット端末を利用した学習習慣が身に付くと、煩わしさは減っていく。
- ・個人で作成した問題については、市で共有フォルダを用意し、そこに学年ごと、単元ごとに保存し、市内で共有する。(数学に限らず、全教科必要かもしれません。Teams で共有するか、共有フォルダで保存するかについては決めておくと良いと思います。

理科ワーク検討作業部会報告内容

2026.6.19

作成者:学校教育課 中川 瞳

1. メンバー

教頭会担当:第一中学校教頭 白神先生

総セ担:肥田先生

学校教育課:中川

中学校教員担当:二中 竹元先生 、 六中 今井先生

2. 作業報告

	ミライシードで網羅できない部分	解決方法
①	グラフ、作図	授業の中でプリントを用いる。図のデータは市内理科部会で共有する
②	単位変換	授業内で取り扱う
③	化学反応式	授業と定期テストで取り扱う
④	テスト作成で使用する図のデータ	備品や消耗品で図を作れるような物を購入する。

3. その他(指導法の提案等)

- ◎共有フォルダを活用する
- 学校教育課フォルダ(;Y)
 - ・「きらっとテスト」…テストの箱
 - ・「ならしドリル」…ミニテストの箱 に自作のプリントやテストを入れ、共有。
- 教科書を読み込み、活用するなどの原点に戻る
- 赤シートでかくして覚えるような手軽な暗記による反復学習
 - ・SKY MENU の発表ノートを用いて、タップすると答えが表示される「自作のデジタル赤シート教材(重要語句・一問一答)」を教科部会で共有化し、生徒に配信する
- 間違えた問題だけを何度も繰り返す
 - ・間違えた問題のスクリーンショットを撮ってノートアプリに貼り付けて自分だけの「苦手克服ベスト」を作らせる

英語ワーク検討作業部会報告内容

2026.6.19

作成者:学習指導課 柴尾 一輝

1 メンバー

校長会担当:第三中学校長 小出先生

総セ担当:辻本先生

学習指導課:柴尾

中学校教員担当:三中 荒井先生、七中 國京先生

2 作業報告

	ミライシードで網羅できない部分	解決方法
①	リスニングテスト素材	生成 AI による問題作成→ALT と会話の録音
②	フォニックス関係教材	1年生の教科書のLet's start! を活用
③	読みトレーニング(長文)	生成 AI を活用し、問題作成 作成した長文は ALT により添削
④	入試対策	千葉県の過去問を利用 入試対策≒長文対策なので、生成 AI を活用

3 その他(指導法の提案等)

- ・基本的にはドリルパークがワークの代用となる
ドリルパークの使用方法 → 毎日の宿題、授業の最後のまとめ(文法導入時)、文法指導のあとの確認(運用方法に注意)
※単文の英作文についてはあまりドリルパークにないが、授業の中で、「場面・条件」を設定してノートに書かせることで自己表現の力を伸ばすことが可能
- ・Teams でのテスト素材の共有(習志野市教育研究会で呼びかけ)